



# セゾン投信 月次運用レポート

## 長期投資家の皆様へ

皆さま、明けましておめでとうございます。一昨年は英ブレグジットに米大統領選のトランプ氏勝利など、市場予想を覆す大きなサプライズが発生して、その行方を占う2017年でしたが、政治的には欧米ともに不確実で不安定な要素をいくつも顕在化させつつも、実体経済は米国が年間を通じて経済成長速度を再び加速させて、世界経済のけん引役を果たし、欧州は景気サイクルが底入れして財政再建に苦しんで来た南欧も含め、全域で成長基調を回復させました。

そしてもうひとつの先進地域の極である日本経済も、アベノミクス政策の継続がいざなぎ景気越えとなる5年超にわたる息の長い景気回復を持続させ、先進地域全般の成長トレンドが新興国経済への需要喚起へと好循環を生み出す、リーマンショック前以来久々に世界経済全体が揃って成長を呼応し合う、地球一体成長の実現する年となりました。

そうした環境下で、年後半の金融市場はグローバルに楽観が支配して、結果的には世界30か国以上の株価指数が最高値を更新。2017年の世界株式時価総額は、世界的低金利の恩恵も追い風となって年間で21%拡大して、世界同時好況をマーケットは過熱感なく受容したと言えましょうか。そしてこの好環境を「セゾン号」両ファンド共に素直に反映して、設定来高値水準で新年を迎えたわけでありませぬ。

実体経済は2018年もG20諸国のほぼ全てで成長率がプラスとなり好況が続くと見られますが、昨年は大幅な株高を債券高も支える側に回るイレギュラーな市場動向でもあり、先進各国の金融政策如何で金利の反転、そして新興国からの資金流出といった楽観相場の反転リスクも相応に育っていると想定する警戒心が常に必要となる、新たな年でもあります。

昨年もセゾン投信は年間を通じて基本的運用指針を堅持して来ました。このスタンスは不確実性の認識を高めるべき2018年も変わりませぬ。あくまで抛り所は長期的な地球経済全体の成長軌道にあり、それは一層安定感を増していると感じています。

「セゾン号」は今年もその大河の流れをしっかり捉えて、目先の相場の変化にはこだわらず、いそがないで進んで参ります。どうぞ2018年も「セゾン号」の旅を引き続き御一緒くださいますよう、宜しくお願いいたします。

中野 晴啓

## ご留意事項

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりませぬ。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）

# セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド SAISON Vanguard Global Balanced Fund

## 12月の市場動向

**株式：**【米国で税制改革法案が成立したものの、金融緩和縮小への警戒が高まったことを背景に限定的な上昇】

途中まで政治的な不透明感が広がって軟調に推移し、中盤以降は米国で大幅な減税を含む税制改革法案が成立する見通しとなって先行きへの明るい見方が広がって上昇したものの、同時に物価上昇観測や金融緩和縮小への警戒が高まったことから、上昇は限定的でした。

**債券：**【途中まで堅調な展開となったものの、中盤以降は物価上昇観測や金融緩和縮小への警戒が高まり軟調】

途中まで政治的な不透明感が広がったことや、金融緩和の長期化観測が広がったことを背景に堅調な展開となったものの、中盤以降は米国で税制改革法案が成立する見通しとなり、先行きへの明るい見方が広がるなかで、金融緩和縮小への警戒が高まって軟調な展開となりました。

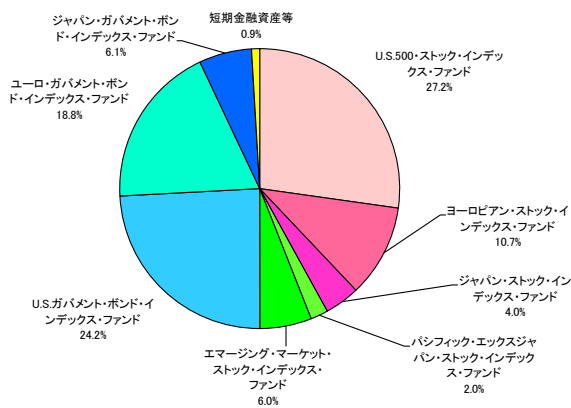
**為替：**【ドルが軟調に推移しユーロが堅調。円は軟調な展開となり、対ユーロで円安、対ドルで小幅な円安】

金融緩和縮小への警戒が高まったことを背景にユーロが堅調な展開となり、米国では景気の先行きに対する明るい見方が広がったものの、金融緩和の長期化観測が維持され、ドルは軟調な展開となりました。円は海外との金利差が拡大したことを背景に軟調な展開となりました。

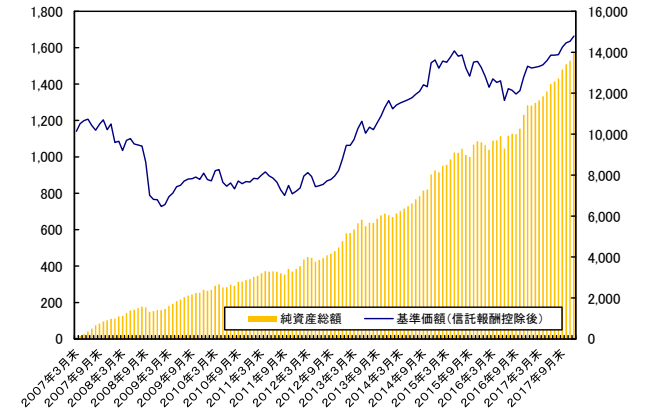
基準価額と純資産総額及び騰落率（2017年12月29日現在）

基準価額	純資産総額	設定来騰落率	過去1ヶ月の騰落率	過去6ヶ月の騰落率	過去1年間の騰落率
14,785円	1570.1億円	+47.85%	+1.73%	+6.69%	+11.02%

資産配分状況(2017年12月29日現在)



純資産総額(億円) 基準価額と純資産総額の推移(設定来/月次) 基準価額(円)



## 12月の運用状況

### 今月の投資スタンス

今月は、定期積立プランなどのご購入により、皆様からお預かりした資金を利用して、定められた投資比率に従って、組入比率が低下していた債券ファンドへの投資を行いました。

### ファンドマネジャーからの一言

今月は、債券に投資するファンドが全て下落しましたが、株式に投資するファンドが全て上昇し、投資先ファンドが基準価額の上昇要因となりました。為替は、対ドル、対ユーロで円安となり、基準価額の上昇要因となりました。結果、当ファンドの基準価額は上昇しました。

当ファンドでは引き続き、将来への予測に依存することなく幅広く投資を行うことでリスクを分散しながら、皆様の長期的な資産形成に資することが出来るよう努めて参ります。

※変動要因については、右側の図1、図2もご参照下さい。

※ファンドの基準価額は原則として2営業日前の株式・債券市場の終値を反映しています。

運用部 瀬下 哲雄

図1 12月度の投資先ファンド価格の変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値/投資先ファンド通貨建て

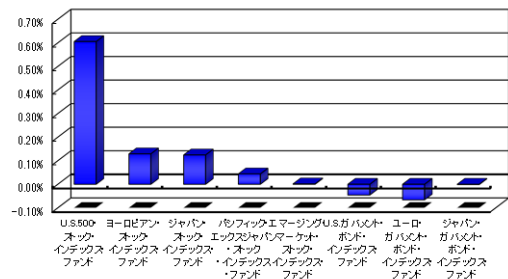


図2 12月度の為替変動による影響  
※月末の投資比率に基づく概算値



## 当ファンドに係るリスクについて

当ファンドはファンド・オブ・ファンズであり、主として投資信託証券に投資を行います。当ファンドは、株式や公社債を実質的な主要投資対象としており、株式や公社債の投資に係る価格変動リスクを伴います。一般に、株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は市場金利の変動等を受けて変動するため、当ファンドはその影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また当ファンドは外貨建資産に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動の影響を受け、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金が割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」や「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」などがあります。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## 当ファンドに係る手数料について

お客様には以下の費用をご負担いただきます。

### ◆購入時に係る費用

購入時手数料はかかりません。

### ◆解約時に係る費用

解約手数料はかかりません。なお、解約受付日の翌々営業日の基準価額に対して0.1%の信託財産留保額が控除されます。

### ◆保管期間中に間接的にご負担いただく費用

#### 信託報酬

ファンドの純資産総額に年0.4968%（税抜0.46%）の率を乗じて得た額とします。その他投資対象である投資信託証券において信託報酬がかかります。当該信託報酬も間接的に受益者の方にご負担いただく費用となりますので、実質的な信託報酬は、年0.68%±0.03%（税込/概算）となります。

#### その他の費用・手数料

##### 当ファンド：

監査費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用等。監査費用を除くその他費用・手数料は、そのつど信託財産から支払われます。

##### 投資対象とする投資信託証券：

- ・投資対象国、市況の変化、あるいは制度の変更等を考慮し、バンガードが定めることにより、購入時及び解約時にファンド財産維持手数料がかかることがあります。
- ・ファンド財産維持手数料とは、当ファンドの信託財産から買付もしくは換金（解約）した際に、ファンド自身に、直接支払われる留保金であり、販売手数料や解約手数料とは異なります。

※これらの費用は、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限等を表示することが出来ません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくはセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料は、受益者へ向けた運用状況の開示ならびにファンドの紹介を目的として、セゾン投信株式会社によって作成された資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当該投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書（交付目論見書）の内容を十分お読みいただき、ご自身でご判断下さい。

当資料は、信頼できると判断した情報により作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通しは、作成日時点での記述者あるいは当社の見解を示したものであり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告無く変更されることがあります。当資料に記載された数値やデータは過去の実績を示すもので、将来の運用成果を保証するものではありません。また税金・手数料等の費用を考慮しておりません。

投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により異なります。外国証券には為替リスクもあります。従って元本保証はありません。

「Vanguard」（日本語での「バンガード」を含む）及び「tall ship logo」商標は、The Vanguard Group, Inc. が有し、セゾン投信株式会社及び承認された販売会社にのみ使用許諾されたものです。

また「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」は、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd より提供、保証又は販売されるものではなく、また投資に関する助言を受けていることを表すものでもありません。従って、The Vanguard Group, Inc. 及び Vanguard Investments Japan Ltd は当ファンド・オブ・ファンズの発行又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

委託会社：セゾン投信株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第349号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

<https://www.saison-am.co.jp/>

お客さま窓口：03-3988-8668 営業時間 9:00~17:00（土日祝日、年末年始を除く）